

### 2011年10月15日実施「火を司る超高温材料」 来場者アンケート 単純集計結果

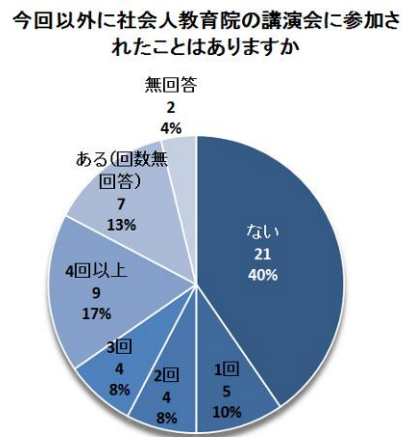
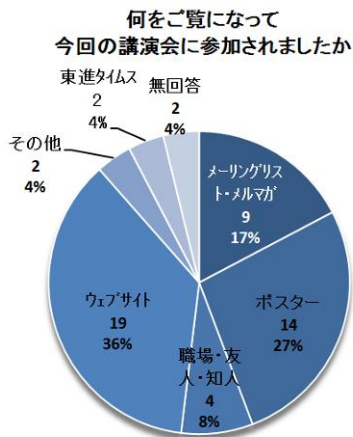
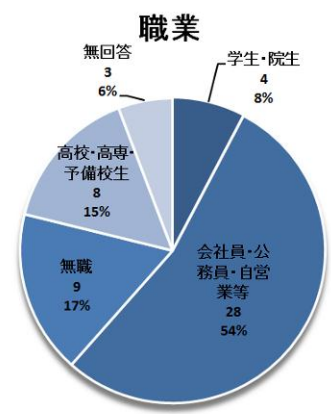
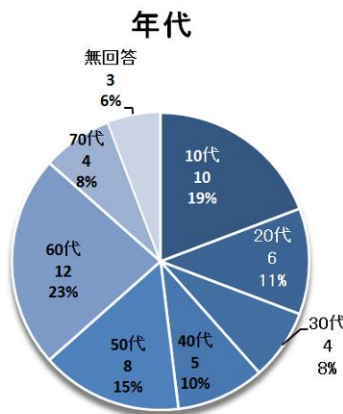
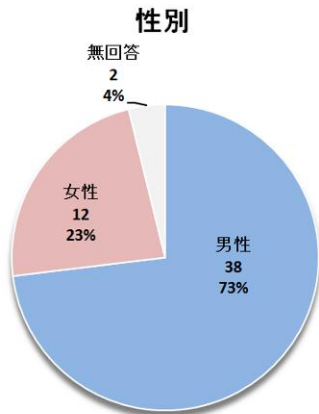
2011年11月4日

東京工業大学「国民との科学・技術対話」推進チーム  
リーダー 鈴木正昭（社会人教育院 院長）  
西條美紀（留学生センター 教授）

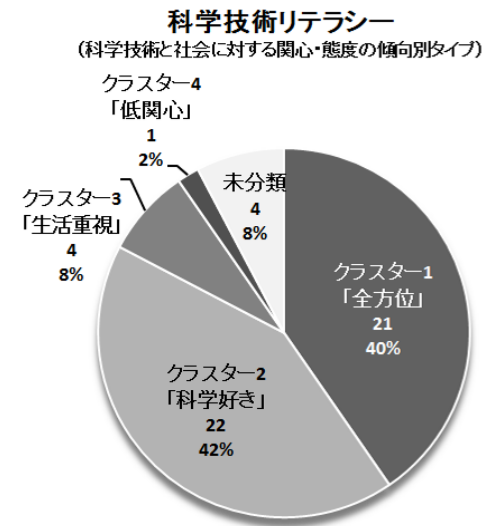
- 講演者： 吉見享祐 准教授（東北大学 大学院環境科学研究科 環境科学専攻）
- 演題： 火を司る超高温材料
- 日時： 2011年10月15日（土）14:30-15:15
- 場所： 東京工業大学 大岡山キャンパス 西2号館4階1号室  
（\*中野貴由 大阪大学 大学院工学研究科 教授「骨を見てみよう」および  
細田秀樹 東京工業大学 精密工学研究所 教授「がんより怖い？ 血管の病気を治すために」と同時開催）

■回収率： 92.9%（参加人数：56人，回収数：52票）

#### ■回答者の基本属性



## ■回答者の関心・態度傾向（科学技術リテラシー傾向）



### 【解説】

このグラフは、Q3の10項目の回答パターンから、回答者の科学技術と社会に対する関心・態度の傾向を4つのクラスターに分類したものです。日本全国規模で行った調査と比較すると（下記参照）、本講演会の回答者は「科学好き」が非常に多い傾向がありました。

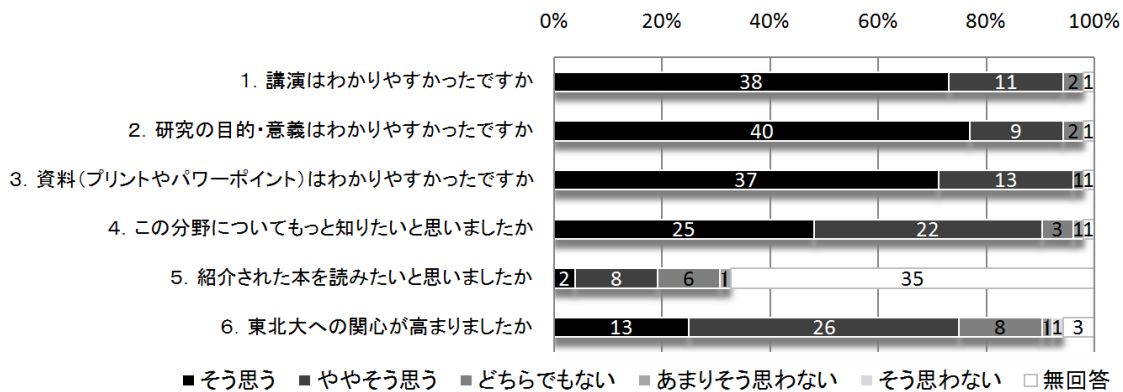
#### 日本全国規模の調査での各クラスターの割合および各クラスターの特徴

クラスター	割合	特徴
クラスター1 「全方位」	26.4%	科学技術への興味や価値意識が強く、社会的な参加意識も高い人々。何事にも肯定的・楽観的
クラスター2 「科学好き」	21.1%	科学技術への興味は強いが、価値意識や社会参加意識は低い。懐疑的な傾向。比較的若い男性が多い
クラスター3 「生活重視」	34.3%	科学技術は苦手だが、社会的な興味は高い人々。女性が多く、リスクに対して敏感な傾向がある
クラスター4 「低関心」	18.1%	科学技術への興味や価値意識が低く、社会的な参加意識も低い人々。若年・低学歴・低収入の傾向

出所: Kawamoto et al., "A survey of scientific literacy to provide a foundation for designing science communication in Japan" Public Understanding of Science (2011.10)  
科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 研究開発プログラム「21世紀の科学技術リテラシー」科学技術リテラシーの実態調査と社会的活動傾向別教育プログラムの開発（平成18～21年、研究代表：西條美紀）による研究成果

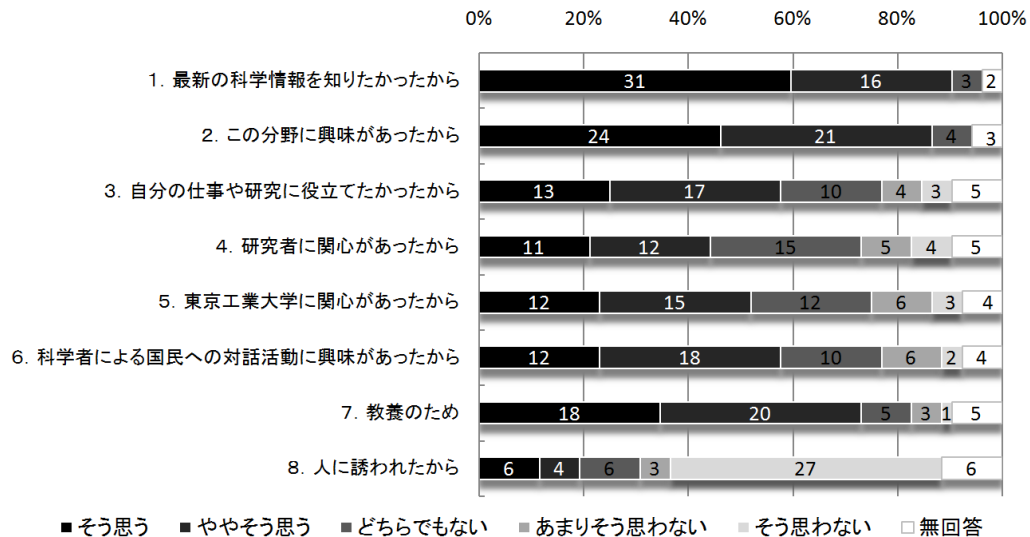
## ■講演に対する感想

### 吉見先生の講演について



## ■来場の目的

### 講演会に参加した目的



■意見・感想（自由記述）： 記入率 40.4%（記入票数：21）

※運営に関する記述以外の一部を以下に掲載（全講演者宛）

- 本当にありがとうございました。私自身このような分野にとっても興味があったのでとてもためになりました（10代女性・高校生）
- どの講演も、普段あまりかかわらないような講演だったので、視野を広げることができました。少し専門的でしたが、高校生向けなので、自分の勉強の少なさを実感し、いい刺激を受けました。勉強は体全体で感じてするものという言葉が印象的でした。（10代女性・高校生）
- 化学苦手なんですけど、とてもわかりやすく興味深いお話ありがとうございました。（10代男性・高校生）
- 材料というと、機械や何かのモノにだけ関係するものだと思っていましたが、人や医療にも大きく関係するんだなあと分かってためになりました。（10代男性・高校生）
- 非常に最先端に行く講演が聴けてとても良かったです。自分にもっと知識があれば質問出来たのになと思ったので、勉強にも励みたいと思いました。（10代男性・学生）
- 非常に分かり易い説明と興味深いテーマだった。実演が少なかったのが残念だったが、身近な例を出したのが面白かった。次回から、別の分野の話と一緒にしてもらいたい。様々な話を聞きたいが、時間がないので。（10代男性・高校生）
- 高校生も対象とした講演として、研究の内容をわかりやすく説明していただき、貴重な機会でした。（20代女性）
- 貴重な講演の拝聴させていただく機会を与えていただき、ありがとうございます。普段接しているようでよく知らない世界の最先端を感じられて楽しかったです。学校教育に携わる者として、授業などにフィードバックさせていただきたいと思います。（30代男性）
- どの先生も非常に話が面白くて良かった。これからもがんばって成果を上げて頂きますようお願いいたします（40代男性）
- 医療が工学の研究によって支えられていることがよく分かりました。（40代男性）
- 私が中学・高校で学んだ理科は基礎的な知識で、今回のようにその年代で物理や数式が実社会でどのように必要とされているのか、触れる機会があるのはすばらしいと思いました。吉見先生の最後のお話はものづくりの末端にたずさわる者としてとても感動しました。身近な中小企業でも東工大の先生方と共同プロジェクトを組んですすめていることはたくさんあります。中小の若手技術者たちにもこうしたお話に触れてほしいと思います。（40代女性）
- どうもありがとうございました。201.10.15 Y.S.（40代男性）
- 研究の原理的説明と実用化に結びついた説明は非常に良い（60代男性）
- 専門的知識がなくてもお話がとてもおもしろかった。とても楽しい時間を持つことができました。有難うございました。これからもこのような講演会が広く行なわれると良いと思います。研究が益々さかんになりますよう祈っております（60代女性）
- なかなか興味深いお話でした ありがとうございます（60代女性）
- 孫の進路についての適切なアドバイスができるようなことも！！（60代男性）
- 材料科学の広がりを感じた（70代男性）

■今後希望するテーマ・分野（自由記述）：記入率 38.5%（記入票数：20）

<材料>

- 医療素材、材料
- 擬結晶、ペンローズタイリング
- 触媒
- セラミックス関係
- 超伝導、磁力、電磁波
- 有機物
- もっと生物と化学を融合したような分野を紹介してもらいたいです

<エネルギー・環境>

- 安心・安全なエネルギー
- 原子力関連のテーマ
- 今後の電力供給について、社会構造や産業の変化など
- 煙についての研究と熱についての話が伺いたいと思います
- 環境系

<その他>

- 宇宙工学
- 宇宙開発、宇宙ゴミ etc.
- 理工工学一般です。理論物理学も興味深いです
- ダークマターの研究成果 地球外資源の適切な利用の可能性
- 色々な分野についてやって行って欲しいです。1 つの分野として挙げるのであれば自動車工学をやって欲しいです。
- 生物学分野
- 医療
- 日本の科学技術の海外と比べての有意点について、また今後の方向性について。よりスピーディに開発を進めるために変革すべきことについて